

事業所名

カレッジまどか

支援プログラム

作成日

7年

3月

15日

法人（事業所）理念		子ども同士がかかわり合いながら成長していくことを大切にしていきます。							
支援方針		① ほっとした気持ちになれる居場所になります。 ② 自己有用感を感じられる場面を作ります。 ※自己有用感は「人の役に立った」「人に喜んでもらった」と感じ、自分は価値のある存在だと思えること ③ いつでも子供を軸に考えます。							
営業時間		11時	30分	から	18時	30分	まで	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	基本的な生活スキルを指導します。 ① 挨拶や身だしなみ、整理整頓が出来るように支援します。 ② 人との距離感やプライベートゾーンの重要性について指導します。							
	運動・感覚	体の使い方、巧緻性、力の加減の調整力を養います。 ① ボールを使った遊び（ビーチボールバレー・テニピン・ピンポン卓球） ② コグトレ棒を使用した棒の交換や、バランス運動、柔軟運動							
	認知・行動	個の特性を把握し、それぞれの課題に応じた支援をしていきます。 ① 声の大きさの調節が苦手→声の大きさをスケールで表示し支援しています。 ② 時間で気持ちが切り替えられない→前もって時間を約束する、タイムスケジュールを決める、タイマーを使用するなど、個の課題に応じた支援を行っています。							
	言語 コミュニケーション	同年齢に関わらず、様々な人とコミュニケーションが取れるよう支援します。 ① ボードゲームやカードゲームを通じて会話のやり取りを支援します。 ② 特性上、発語が明瞭でない児童にはエコミュ等のコミュニケーションツールを用いて支援します。							
	人間関係 社会性	遊びを通じた子ども同士のやり取りの中で社会性を育みます。 ① 集団で遊ぶ経験をたくさんし、楽しいと感じられるように支援します。 ② 遊びには児童指導員が入り、やり取りを観察し必要な支援をします。							
家族支援		専門的な視点から、利用児の障がいの特性とその対応で助言できることがある時は保護者に助言する。 また、保護者から相談があった時は相談に応じる。				移行支援		学校や医療機関、その他関係機関と情報の共有を行います。	
地域支援・地域連携		連携会議を定期的に行い、情報の共有を行う。 各機関の情報に基づき助言を行う。				職員の質の向上		児童一人一人の支援会議を行い、支援の方針や進捗を把握するようにしています。 資格保有者が講師となって社内研修を実施（性教育・コグトレ）	
主な行事等		・避難訓練（5月、11月） ・まどか夏祭り（8月） ・ハロウィンパーティー（10月）							